

# 犯罪被害者等をサポートできる環境づくりを構築

公益社団法人 ひょうご被害者支援センター

## 犯罪被害者等にとって頼れる心強い存在

大切な家族や自分自身が、犯罪被害や事故に巻き込まれることは、残念ながら誰にでも起こりうることである。また、周囲の人からの配慮にかけられる言動により、さらなる「二次的被害」にさらされることもある。犯罪被害者等には、周囲の人の理解やサポートが不可欠である。

兵庫県公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けた「公益社団法人ひょうご被害者支援センター」は、被害者支援に関する専門的な知識を有する弁護士等の有識者とボランティア相談員を中心に構成され、警察との緊密な連携の下、犯罪被害者等の支援活動を行っている。

電話相談や面接相談、付添い支援や裁判の代理傍聴など被害者のニーズに応じた直接支援、犯罪被害者や支援の現状を伝えるためのキャンペーンや研修会等の広報啓発活動、更には昨今の犯罪の低年齢化や、いじめ問題が深刻な状態となっている中で、子どもたちを対象に、犯罪被害者等が受ける様々な痛みや命の大切さなどを理解し、規範意識を向上させることを目的として「命の大切さを学ぶ授業」も実施し、社会全体で被害者等をサポートできる環境づくりをめざしている。



公益社団法人  
ひょうご被害者支援センター

安心してご相談ください! 078-367-7833

毎週火・水・金・土(祝祭日を除く) 午前10時～午後4時

※秘密厳守 このでの相談内容は一切漏れることはありません  
http://supporthyogo.org



# ひるげよう地域安全まちづくり

# マモリンレポート



### 若い世代には負けない! 60歳以上のメンバーで 構成された団体が取り組む 安全安心のまちづくり活動

～ 亀井老人クラブ 亀寿会 (宝塚市) ～



# ひょうご地域安全 SOSキャッチ電話相談



日常生活の中で、地域の安全・安心にかかる異変に気づいたら、お気軽に「SOSキャッチ電話相談」に通報・相談してください

身近な異変に気づいたら… 通報先に迷ったら…

いざツボ (月～金 9:00～16:00) ※電話相談のみ 祝日・12/29～1/3除く

078-341-1324

専門機関や警察などに迅速・適切につなぎ、早期の対応を図ります

兵庫県・兵庫県警察

## 一回防犯パト

マモリンレポートは、これからも、地域安全まちづくりの参考となるような活動を実施している団体を取材していきます。

「こんな取組をしているので私の団体を取材して欲しい」「この団体の活動はすごい」等の意見・要望があれば、下記事務局までお知らせ下さい。

過去のマモリンレポートは、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会ホームページにも掲載しているのでチェックして下さい。

発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県地域安全課内

電話・FAX:078-362-1071

e-mail:hyogo@bouhan-suishin.gr.jp

URL:http://hyogo.bouhan-suishin.gr.jp

## ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。



このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。



### 公務員という職域で つながるボランティア 団体

～ NPO法人 公友会 ～



## マモリンレポートとは

- マモリンレポートでは、県民のみなさんによる地域安全まちづくり活動の参考となるよう、まちづくり防犯グループ等の特徴的な取組を紹介します。
- 「マモリン」とは、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会のシンボルキャラクターです。







## 若い世代には負けない! 60歳以上のメンバーで構成された団体が 取り組む安全安心のまちづくり活動 ～亀井老人クラブ 亀寿会(宝塚市)～

### 知識、経験を生かした子ども見守り活動

同団体は、子どもたちが安心して登下校できるように、週4日亀井町内の通学路3か所で声掛け・見守り活動を続けている。

声掛け・見守り活動は、子どもたちの安全・安心を見守るだけでなく、「声掛け」を実施し、コミュニケーションを取りながら、子どもたちの様子・体調等を注意深く観察している。



メンバーは、60歳以上の男女で構成されており、メンバーの知識、経験等を生かし、気になる点があれば、直接子どもたちの相談を聞いたり、学校や家庭と連携し、不登校等の複雑な問題の解決を図っている。



### 清掃活動から生まれる防犯対策

メンバーは、毎月1日に集まり、亀井公園等を清掃している。清掃活動をとおして、子どもたちの生活環境を整えるとともに、危険箇所等の発見にもつながり、学校、自治会と連携し、注意喚起することで、防犯対策としての機能も果たしている。

この活動が、会員とのコミュニケーションの場となり、会員相互の連

携強化にもつながっており、清掃活動中も「元気にしてる?」「体調よさそうやね」等の会員同士の声掛けも多く聞かれ、活気のある団体との印象が残る。

また、一人暮らしの高齢者等の自宅訪問活動を実施し、新たな手口の振り込め詐欺等の情報があれば、訪問活動の際に注意を呼び掛けている。



### 会長 森本 勉さんの声

私たちのような60歳以上のメンバーが精力的に活動することにより、若い世代の方たちの刺激となって、「自分でもこのような活動ができるのではないかと考えるきっかけになればと考えています。「地域の安全安心」を目指し、今後も精力的に活動していきたいです。



### グループの紹介 亀井老人クラブ 亀寿会

亀寿会は、亀井町に居住する60歳以上の男女73名で構成され、会員相互の親睦を図るとともに、健全にして豊かな生活の推進を図ることを目的として昭和61年に設立した。

現在は、社会福祉活動等の地域の安全と安心をモットーに明るいまちづくりを目指した活動に取り組んでいる。

平成25年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。



## 公務員という職域でつながる ボランティア団体 ～NPO法人 公友会～

### 危険箇所を見抜く「目」で不審者・危険な場所を早期把握

毎週1回ほど、勤務終了後に阪神や西播磨など県内各地の勤務場所から集まり、警察等の機関と連携しながら、犯罪情勢を独自に分析するなどし、月の重点パトロール地点を決め、より犯罪抑止効果のあるパトロールを継続している。

メンバーの中には、土木事務所の道路管理パトロールを業務としている者

もおり、死角や危険な場所を見抜く「目」が生かされ、危険箇所や不審者を発見した場合等も関係機関との連携を欠かさない。

パトロールは、勤務後に開始しているため、疲れているときもあるが、住民から声を掛けてもらうと、疲れも吹き飛ばすと言う。



### 感謝の気持ちを支援活動に!!

メンバーは、自ら被災した阪神・淡路大震災において、全国各地からさしのべられた支援への感謝の気持ちを込めて、水害や震災等での家屋の泥除去、清掃、食料の炊き出し等の支援活動を行っている。

災害直後などは、食料不足などの要因から、生存手段として行われる犯罪などがあることから、この活動が犯罪抑止につながっていると信じて活動している。

また、振り込め詐欺等の犯罪に巻き込まれないようにと高齢者を対象とした防犯講話の講師を務めるメンバーもあり、活動の幅は広い。



### 理事長 村上 公敏さんの声

「地域の安全のために社会貢献し犯罪を減らしたい」との思いから現在の防犯活動を続けています。公務員も地域の一員として、ボランティアで貢献できることはあるし、今後は活動の幅を広げ、民間グループとも連携していきたいです。



### グループの紹介 NPO法人 公友会

公友会は、平成4年2月に兵庫県職員のみで何か社会貢献できるのではないかと趣旨の下、結成されてから20年以上が経つ公務員ボランティア団体で、昨年11月、NPO法人として認証されている。

また、平成22年から、ひったくりや性犯罪の多さに目を向け、青色防犯パトロール活動団体として申請し、パトロールを開始している。

